



# 沼中だより

12月号

2024年12月24日発行

返子市立沼間中学校

校長 熊谷啓明

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

## <校長先生より>

令和6年も残すところあとわずかとなりました。

この一年、みなさんが一生懸命に学び、成長し、仲間とともに充実した学校生活を送ってきたことを、教職員一同心よりうれしく思います。

保護者のみな様には、生徒たちの学びを支えてくださり、心より感謝申し上げます。

さて、年が明けると多くの方が初詣に行くことと思います。

初詣は新しい年の始まりに、心を新たにする貴重な機会です。

初詣で多くの方は「～しますように」とお願いをしたいと思います。

でも、来年もし初詣に行くとしたら、神様にお願いするだけではなく、ぜひ“誓い”を立てる気持ちで参拝してほしいと思います。

たとえば、「第一志望校に合格しますように」と願うだけではなく、

「第一志望校に合格するために、しっかりと最後まで勉強します。

そのことを見守り、力を貸してください」と、具体的な行動を伴う宣言を心の中で伝えるのです。このような「誓い」を通して、自分自身の努力を改めて確認し、実行する力を強めることができますでしょう。

新しい年は、みなさん一人ひとりがそれぞれの目標に向かって努力を続け、大きな成果を上げる年となることを祈っております。

どうぞ年末年始を家族とともに穏やかに過ごしてください。

それでは、良いお年をお迎えください。

(文責 熊谷啓明)

## <3年生より>

3年生は12月の教育相談でほとんどの人が志望校を決定し、その進路決定にむけて毎日頑張っています。

授業で出された問題に対し、休み時間まで解き方を教え合ったり、個々に問題集に取り組んだりしている様子が見られています。

36期の仲間で過ごす時間もあと少し。

辛いことも楽しいことも、この仲間たちと支え合いながら、過ごしていってほしいと思います。

## <2年生より>

寒さが厳しくなり、暖房の入る教室にいることが多くなってきた今日このごろです。服を着込む生徒、ドアに「あけたらしめて」の張り紙を自作する生徒。自分たちで寒さ対策を行っている一方で、部活動後で「暑い～」と言いながら窓を全開にする生徒、給食が終わるや否や猛ダッシュ（廊下は走ってはいけません！）で外に遊びに行く生徒。それぞれが多様性を受け入れながら学校生活を送っています。

12月19日（木）にクリスマスレク会を学級委員が企画・運営してくれました。「フリースロー対決」、「背中でボールはさみりレー」、「ビンゴ大会」。時間がない中ではありましたが、なんとか37期生みんなで楽しみたいという想いで準備をしてくれました。よい年納めができたのではないのでしょうか。学級委員のみんな、ありがとうございました。

3月に行われる文化祭で歌うクラス合唱曲が決まりました。A組の合唱曲「COSMOS」、B組の合唱曲「心の瞳」です。学年合唱は「HEIWAの鐘」。コロナ禍が終わってから初めてのクラス合唱です。1クラスの数も多いので期待大です。是非みんなでよい合唱を奏でてください。

今年度も残すところ3ヶ月となります。まだまだたくさんの経験や思い出、絆を創るチャンスがあります。

たくさんトライして、全員にとってのよい集団を築いていってください。それではよいお年を。

## <1年生より>

1年生は11月に行った横浜めぐりの発表準備に勤しんでいました。ロイロノートでスライドを作り、自分のテーマに沿った内容で探求した成果を表現しています。また、スライドに音声を入れ、スライドを見つつ、発表者の解説が聞ける形で作成しました。表現の仕方も様々で、写真や自前のイラストを載せている人、「どう表現すればいいんだー」と苦戦している人、機械の音声を解説に入れる工夫をする人もいました。13日（金）に班内発表、16日（月）に班員以外の発表を行いました。その結果、20日（金）に各クラス3人ずつ、投票で選ばれた人の発表を行いました。各クラスの代表の発表は、どれも聞いている人の心をつかむ工夫が施されていて、気持ちがとてもワクワクしました。

また、まとめ方が非常にわかりやすく、聞きやすい内容で、どの発表もとても印象に残りました。当日だけでなく、スライドによる発表という形で各自が学んできたことをアウトプットしている様子を見て、38期の成長を感じました。